

# これまでの歩みと これからの津市のまちづくり I

新・津市合併から10年間の歩みとこれからのまちづくりについて、  
今回から14回にわたり、毎月1日号の広報津でお届けします。

平成18年の市町村合併により、711.11km<sup>2</sup>という県内最大の市域となった津市は、地域防災計画の徹底見直しを行い、県内自治体に先駆け津波避難ビルの指定を進めてきました。平成28年5月現在、72棟を津波避難ビルとして指定するとともに、全国的にも珍しい土砂災害避難施設の指定や、中小河川の避難判断基準の設定も推進しています。さらに東日本大震災発生後は、災害応援協定の締結をより一層進め、現在では締結した協定数96、団体数302と震災前に比べて倍増し、県下でもトップクラスの防災力を持つ市となりました。

これからも、市民の生命と財産を守るため、台風や地震などの災害への対応力の強化を行っていきます。



贗崎地区防災コミュニティセンター



デジタル同報系防災行政無線システム



津波避難ビル表示板



屋外拡声子局

- ▶ 新・津市の地域防災計画を策定
- ▶ 贗崎地区防災コミュニティセンターオープン

- ▶ 地域防災計画(津波対策編)を策定
- ▶ 津波避難ビルの候補施設の募集開始

- ▶ デジタル同報系防災行政無線の運用開始

▶ 耐震シェルター設置事業補助金の交付開始

H18

H19

H20

H21

H22

H23

- ▶ 津市民防災大学のスタート
- ▶ 地震防災マップの全戸配布



地震防災マップ

- ▶ 危機管理指針策定
- ▶ 自主防災協議会の設立



第1回自主防災協議会総会の様子



外部階段・屋上フェンスの設置(香海中学校)

- ▶ 新型インフルエンザ対策行動計画を策定
- ▶ 防災資機材等整備費補助金の交付開始